

令和4年度 日向市立坪谷小学校 学校関係者評価書 No.1

学校経営ビジョン

坪谷の「自然・人・文化」のふれあい及び本校のよさを再認識することで、ふるさとを愛し、坪谷小の児童であることに誇りをもてる児童の育成を目指す。

～「坪谷地区・坪谷小のよさを知り、よさを引き出し、よさを生かす」「一人一人が輝いて 活気あふれる坪谷小学校」～

重点目標	達成目標	4段階評価の平均 十分達成＝4 概ね達成＝3 あまり達成できていない＝2 ほとんど達成できていない＝1				評価指標(アンケートの到達目標)	評価指標達成状況及び次年度の改善策等	達成度評価 (自己評価)		学校運営協議会委員による評価 期待以上A 期待どおりB 期待を下回るC 要改善D	
		児童 自己評価	保護者 自己評価	職員 自己評価	全体平均			平均3.4以上 A 平均3.0未満 C	評価	コメント	
個に応じた指導の充実、 学ぶ意欲と学力の向上	基礎基本の確実な定着と学ぶ意欲の向上	3.3	2.9	3.2	3.1	○アンケート全体平均3.2以上 ○単元末テストで学年平均80点以上	朝の家庭学習確認の時間を活用し、宿題プリントのやり直しや家庭学習の見届け等を行うことで、基礎基本の確実な定着を図っていく。授業の導入を児童の興味・関心を引くような工夫をしたり、できたときに称賛して自信をもたせたりすることで、学ぶ意欲の向上を図っていく。	B	B (B A B B B A B)	○読書について…映画や漫画等、児童が興味をもちそうな文庫本を図書室や学級文庫に置いて、完読する充実感を味わわせてみてはどうだろうか。○どの学年も平均80点以上を達成できているので、学力向上にますます努力していただきたい。○学習指導については、指導内容や指導方法について、様々な視点からの工夫や効果の確認・検証が行われており良好と思われる。読書の評価が、経年変化で見た場合、上がらないのが気になる。○ほとんどの項目において、高く評価できます。今後也更なる高みを目指してほしい。ただ、読書力について、気になる。「読書する習慣」が自然と身に付くと良いのが、検討や工夫が必要なのだろう。○朝の読書タイムは、よい取組だと思う。(我が子の通う高校でもありました。)授業でも、読書を取り入れているかと思うが、友達と一緒に本に向かうことで、よい刺激になっていると思う。○個々に応じた学習に取り組まれていると思う。○個に応じた指導の充実も、少人数の利点を生かして上手く行われていると思う。単元末テストも、学年平均80点以上を、これからも継続して行ってい	
	児童にとって分かりやすい授業の工夫・改善	3.9	3.6	3.2	3.6	○アンケート全体平均3.2以上 ○研究授業1人年2回以上	「授業改善の4つのチェックポイント」の項目内容(「めあて」と「まとめ」の整合性、指導内容の精選とテンポや間、児童の実態にマッチした授業内容、的確な指示や発問)を日々意識して授業を行ったり、職員間で効果的な学習指導の方法を共有し、積極的に実践したりすることで、授業内容の工夫・改善を図っていく。また、放課後の教材研究の時間を有効に活用し、より充実した授業につなげていく。	A			
	家庭学習の充実	3.6	2.9	3.0	3.2	○アンケート全体平均3.2以上	現在学校全体で共通して行っている、自学ノート、漢字ノート、プリント等の家庭学習の内容を見直す。また、家庭学習の確実な見届けを行うことで、家庭学習の充実を図っていく。	B			
	個に応じた指導の充実	3.9	3.3	3.2	3.5	○アンケート全体平均3.2以上	児童個々の実態に応じて、授業中の練習問題や家庭学習の量や内容の調節を行う。その児童が苦手とする内容や補充が必要な内容を把握するため、普段の授業から、練習問題などで学習内容の定着度を見取ることができるようにする。	A			
	読書環境整備、読書指導の充実	2.9	2.5	2.3	2.6	○アンケート全体平均3.2以上 ○学期目標冊数 1・2年…50冊 3・4年…40冊 5・6年…30冊	読書意欲の向上のため、様々な取組を行っているが、なかなか結果しない状況にある。次年度も引き続き、親子読書や読書月間、地域の方々による読み聞かせなど一つ一つの取り組みを丁寧な実施・見届けを行い、更なる読書指導への徹底を図る。また、学校図書館司書とも連携を密に取りながら、読書活動、図書室整備を行う。そして、児童の読書への興味・関心を高めるために、児童会活動(委員会活動)を活用し、児童自らが中心となって読書活動に参加してけるようにする。	C			
体験活動を通して豊かな心の育成	体験活動の充実	3.9	3.6	3.3	3.6	○アンケート全体平均3.2以上 ○稲作体験等の完全実施	全体を通して体験活動に関しては、良い評価が得られている。更にステップアップするために、学級通信等を用いた活動の様子の配信や活動の意義についての指導をより深く行っていく。	A	B (A B A B A A)	○一昔前は、細島小学校と牧水関係で交流を行っていた。コロナ禍ではあるが、様々な体験をさせ、自己有用感をもてる様々な活動ができればと思う。○地域活動及び清掃活動や稲作体験活動に、ますます意欲的に取り組む児童を育成してほしい。○整理整頓、時間の大切さについて、学校では職員の指導もあり、維持できているが、家庭での実践がなかなか維持できていないようである。毎年度、課題として浮かび上がるところであるが、粘り強く対策していくしかない。○坪谷小学校では、いろいろな体験活動があるが、一番は「元気な児童」を育成することだと思う。体験活動から普通の授業では学べないものが得られることも児童にとっては大きな財産になると思うので、今後も継続してほしい。○坪谷小学校の体験活動は、その後の生活や活動の中で大きな力になっていると感じている。児童・保護者・先生方も、大変な労力を要すると思うが、今後も続けていただきたい。○稲作体験活動や奉仕活動等で地域の方々と接する際に、概ね元気よくあいさつができていて、とてもよいと思う。	
	縦割り班における人間関係の醸成、リーダー性の向上	3.8	3.2	3.1	3.4	○アンケート全体平均3.2以上 ○いじめ認知3以下、年度内解決	令和4年度と同様、おすず班を中心とした縦割り班での活動を継続していく。また、委員会活動や牧水顕彰活動等の全校児童が主体的に取り組むことができる場を設定することで、意欲や自信をもって学習活動に取り組むことができるようにする。	A			
	牧水顕彰活動を通した、自尊感情、郷土愛の育成	3.8	3.6	3.1	3.5	○アンケート全体平均3.2以上 ○顕彰活動完全実施	牧水生家清掃や牧水ヶ丘祭りなど予定されていた顕彰活動を全て実施することができた。牧水生家清掃では、誇りをもって清掃活動に取り組み、若山牧水先生が見ていた坪谷の景色にも注目しながら活動することができた。登校時の短歌朗詠や、短歌作り等においても若山牧水先生に触れることができた。次年度も継続して顕彰活動を実施し、自分たちの地域や学校に誇りをもてるようにする。	A			
	元気のよいあいさつのできる児童の育成	3.7	3.5	3.1	3.5	○アンケート全体平均3.2以上	毎日のあいさつや、授業前後の号令など、あいさつの声の大きさや明るさを意識して常時指導していく。「あじさいあいさつ」(あ…明るく、じ…自分から、さ…爽やかな、い…いつでも)を、4月のがんばり週間だけではなく、日常的に指導していく。	A			
	指名をされたら「はいっ」と返事ができる児童の育成	3.7	3.5	3.1	3.4	アンケート全体平均3.2以上	毎日の授業や全校が集まる場において、よい返事ができている児童を称賛するなど、全職員が意識して常時指導を行っていく。	A			
	感謝の気持ちを持ち「ありがとう」が言える児童の育成	3.8	3.5	3.1	3.5	○アンケート全体平均3.2以上	教職員が児童に対して積極的に「ありがとう。」という言葉を使うなど、教職員が児童の模範となるような姿を見せていく。道徳科において、「感謝」の内容を重点的に指導し、「ありがとう。」という言葉の意味や大切さなどにもふれる。	A			
	身の回りの整理整頓ができる児童の育成	3.2	2.5	3.0	2.9	○アンケート全体平均3.2以上 ○週1回の整頓の目完全実施	朝の会や帰りの会等で、身の回りを整理整頓する時間を設ける。委員会の児童が、6校時の委員会活動の時間に各教室のロッカー等の整理整頓状況を見て回り、チェックカードに記入して掲示することで、全児童が整理整頓について振り返ることができるようにする。	C			
	時間を大切にすることができる児童の育成	3.2	2.6	3.2	3.0	○アンケート全体平均3.2以上	5分前行動や1分前着席の指導を徹底する。「〇分間で準備」など時間の設定を行い、タイマーを活用して時間を意識できるようにする。	B			

令和4年度 日向市立坪谷小学校 学校関係者評価書 No.2

重点目標	達成目標	4段階評価の平均 十分達成＝4 概ね達成＝3 あまり達成できていない＝2 ほとんど達成できていない＝1				評価指標(アンケートの到達目標)	評価指標達成状況及び次年度の改善策等	達成度評価 (自己評価)		学校運営協議会委員による評価 期待以上A 期待どおりB 期待を下回るC 要改善D	
		児童 自己評価	保護者 自己評価	職員 自己評価	全体平均			平均3.4以上 A 平均3.0未満 C		評価	コメント
健康食増進を・ 体力向上と した上	「早寝・早起き・朝ご飯」を実践できる児童の育成	3.2	3.0	2.3	2.9	○アンケート全体平均3.2以上	毎月、生活チェックを行っているが、早寝・早起きをできていない児童が目立った。長期休業前や全校集会などで規則正しい生活習慣について指導しているが、次年度は保健室前の掲示物や保健だよりを活用し、児童だけでなく保護者も行動変容に繋がるような情報を発信していく。また、メディアコントロールについても定期的に情報発信を行い、規則正しい生活習慣を実践できる児童を育成する。	C		B (B A B B B B B)	○メディアコントロールは、大人でも難しい課題である。食についても、家庭教育学級等で多く取り上げてもらいたい。 ○学校及び家庭での取組と連携して、柔軟に対応してもらいたい。
	体力向上プランをもとにした日常運動や体育の時間の工夫・充実	3.5	3.2	3.0	3.2	○アンケート全体平均3.2以上 ○体力向上プランの実践事項完全実施	体育指導は、児童にとっても保護者にとっても、成果がわかりにくいものである。そのため、児童の伸び率や活動の様子を随時評価し、保護者にも発信していく。また、個に応じた指導を職員間で共有し、その児童の良さを伸ばす指導を行う。	B			○早寝・早起き・朝ご飯の項目については、生活のリズムを整え、学校生活を始める瞬間での心身の健康状態をもう少し改善したいとの判断だと思う。この点も毎年、課題として浮かび上がるところであるが、粘り強く対策していくしかない。
	栄養教諭などの活用を通した食育指導の充実	3.4	3.5	3.2	3.4	○アンケート全体平均3.2以上 ○栄養教諭訪問の完全実施	10月に栄養教諭が来校し、食育指導を実施した。授業の内容や児童の様子を食育だよりや校内掲示物を利用して保護者に発信した。ただ、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、給食中の栄養教諭の指導が実施できなかった。次年度は、感染状況をみて、給食時も栄養教諭に入っていたいただき、食育指導の充実を図る。	A			○体力の向上には、偏らない栄養の摂取も大事だと思う。また、毎日の生活リズムも影響があるのではと考える。
	家庭料理の日の内容の充実	3.5	3.1	3.0	3.2	○アンケート全体平均3.2以上 ○家庭料理の日の完全実施と、通信等での連絡評価	夏休みと冬休みの年2回「家庭料理の日」を実施した。保護者と協力して料理を作る児童や一人で料理に挑戦する児童などワークシートから各家庭での取組の様子が目撃された。ただ、実施したままで終わってしまっていたため、次年度は、ワークシートを掲示したり、発表会の時間を設けるなどして食育の充実を図る。	B			○早寝・早起き・朝ご飯は、自分の子どもを見て考えるところがある。 ○早寝・早起き・朝ご飯等、家庭と学校で差があるので、規則正しい生活習慣が身に付くように、家庭との連携をさらに強める必要がある。
地域等と 連携の 推進した	学校と地域との連携の充実		3.2	3.6	3.4	○保護者・職員へのアンケート 全体平均3.2以上 ○運動会などの行事における 地域方々への参加呼びかけ	ほとんどの行事が、保護者や地域の方々の協力のもとに運営が成り立っている。特に奉仕作業や運動会、牧水ヶ丘祭り、バザー、餅つき等において、多くの方々にご協力をいただき、スムーズに開催することができた。次年度も、行事予定や実際の様子をホームページやメール、学校便りなどを通してお知らせし、学校と家庭と地域が連携して取り組んでいくようにする。	A		A (A A A A A A)	○坪谷小学校区の方々は、学校に思い入れがある方が多い。これまで同様に、情報発信をお願いしたい。 ○保護者と職員及び地域の方々の協力が必要だ。 ○これまであまり学校に足を運んでいない地域の方々の取り込みについて何らかの対策を考えてみたい。
	学校の様子の積極的な情報発信		3.5	3.9	3.7	○保護者・職員へのアンケート 全体平均3.2以上 ○週1回以上のホームページの更新 月1回の学校だより	ほぼ毎日校長がホームページの更新を行い、学級担任は定期的に学級通信を発行し、学校・学級の様子を地域や家庭に発信できた。緊急性のある連絡は、教頭が「坪谷小安心メール」を使用し、素早く該当者に連絡をとった。次年度は、児童の様子だけでなく、学校と家庭・地域が協力して活動している姿も積極的に発信し、学校と家庭と地域との連携に興味・関心をもってもらえる方々を増やす。	A			○現在の学校の規模から考えると、地域の協力は必要不可欠と思う。なかなかコロナも落ち着かず、難しい面があると思うが…。 ○学校行事や奉仕作業等、地域の参加者も多く、うまく連携がとれていると思う。
小中一貫 教育の 実現	東郷地区の小中一貫教育の目標(グランドデザイン)の理解		3.0	3.3	3.1	○保護者・職員へのアンケート 全体平均2.8以上	P T A総会での周知に限らず、懇談会でもグランドデザインについて保護者に周知する場を設けることで、東郷地区全体で「郷育」を図ることができるようにする。	B		B (B B B B B B)	○グランドデザインが輪に描いた餅にならないよう、保護者にも共通した認識してもらいたい。 ○PTA戸数の減少を考えると、地域の協力が必須だと思うが、区の戸数も少ないため、参加できる人が少ないが、できる限り協力していく。 ○課題等いろいろあるであろうが、様々に働きかけをしてトライ・継続してほしい。
	小中一貫した共通実践の充実		3.0	3.0	3.0	○保護者・職員へのアンケート 全体平均2.8以上 ○幼保小中関連研修への完全参加	東郷学園との集合学習や、遠足・集団宿泊の行事を通して両校の連携した指導を深めるとともに、グランドデザインの見直し、精査を各校の職員が共に行う機会を設ける。	B			○児童が思うよう心や学校運営にすること等、必要なはすり合わせた方がよいと思う。
	小中一貫した児童生徒の育成		2.9	2.8	2.8	○保護者・職員へのアンケート 全体平均2.8以上	グランドデザインを基にした児童生徒の育成において、共通理解や共通実践項目を適宜確認したり情報交換を行ったりするための連絡会を両校の教務主任が行う。	C			○東郷学園に行った当時、参観日に不安に思ったことがあった。子どもはスムーズに入っているかと思うが、声悪い・不安等がなかったか機会があれば、卒業生やその保護者の声を聞き、小中学校で対応できることがあれば、検討していただくと安心かと思う。(当時の話で申し訳ありません) ○学業だけでなく、生活面でも東郷学園との交流は、中学生生活を迎えるにあたり、とても重要だと思う。コッパ園にあり、できないこともあろうと思うが、できるだけ交流の場が増えるように。
教職員 の 資質の 向上	教職員としての役割や責任の自覚、コンプライアンス意識の向上			3.7	3.7	○職員へのアンケート平均3.2以上 ○服務違反0	毎月、個々が職務に関するチェックシート「しん・ら・い・に・こ・た・え・よ・う・は」に記入したり、機会あるごとに新聞記事や事例集を用いて、わいせつ行為、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、交通違反・交通事故、体罰等のコンプライアンス研修を行ったりして、職員の意識を高めていった。次年度もこれらを継続し、教育公務員としての意識を高めていく。	A		A (A A A A A A)	○職員の連携が見られ、よい方だと思う。 ○新たに赴任された先生方は、複式学級の経験が浅いと伺っていたので、この1年間どのような経過であったか気になる。今後様々な学校での児童への指導に活かしていける体験であることを期待している。
	自分のキャリアプランに基づいた資質・能力の向上			3.4	3.4	○職員へのアンケート平均3.2以上	1・2・1月に個々の職員に対してフィードバックを行った。次年度も、校長や教頭は、個々の職員との目標設定ミーティング(期首面談)において、学校経営ビジョンや宮崎県教員育成目標をもとに、個々の職員が「どのような能力」「どのような行動」を求められているのかを明確にする。そして、年間を通して個々の職員の目標内容を念頭に置き、その達成に向けて指導・助言を行っていく。	A			○複式教育で、先生たちも苦学される中、本当に粘り強く頑張っていると思う。感謝します。
	職員間の風通しのよい人間関係の醸成			3.6	3.6	○職員へのアンケート平均3.2以上	次年度も、校長や教頭は、業務効率化による長時間勤務の緩和に努め、優先度の低い業務は、積極的に縮減する。そして、一部の職員に業務の負担が偏らないようにし、問題が起こったときには、個人ではなく、組織的に対応する。また、情報を共有できる組織風土、チェックするのが当たり前の組織風土、報告・連絡・相談を円滑に行える組織風土、人権・人格を尊重する組織風土をさらに高める。	A			○各項目の評価も高く、とてもよいと思う。

評価委員意見総括

○地域性豊かな坪谷小学校。小規模校ならではの小回りの利いた活動で、活気のある学校にしたい。
○学校運営協議会は新しい人があるので、今後は地域活動及び学校行事を区として協力していく。
○良好の評価と努力必要の評価が、固定化してきているように思われる。なかなか評価が改善しない項目についての対策を考えてみたい。
○児童、保護者、先生、それぞれ皆さんが、家庭においても学校においても前向きに取り組んでいることが、書面上であるが感じられる。今は取組の成果が現れなくても、今後の生活、活動の中で生きてくと思うので、地道にコツコツ続けていっていただきたい。(今、あらためて当時の先生方に感謝しているところです。)
○学力向上や生活習慣等、学校と家庭で連携して、さらに伸ばしていけたらよいと思う。学校生活や地域との交流は、コロナの影響もあり制限されることも多いと思うが、少しずつ戻していけたらと思う。